

## 地域の魅力を高める歴史的資産の使い方を創造する

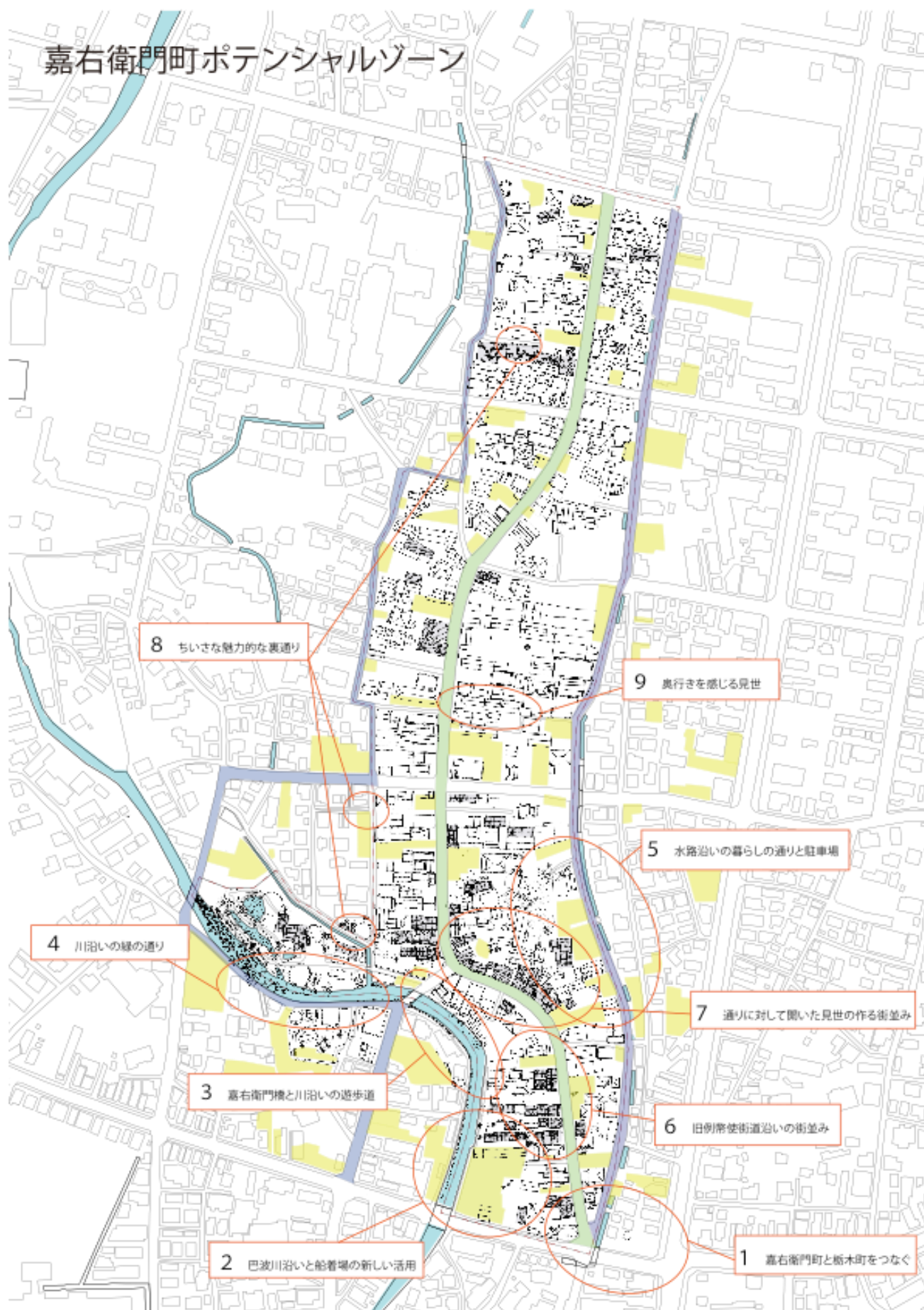
---

### 36 街並みの将来像をパタンランゲージから考える

嘉右衛門町地区の将来について、住民とともに具体的に考えていくきっかけとして街並みの将来像の図案化を試みた。栃木、嘉右衛門町パタンランゲージを作っていくための町歩き調査や、ワークショップの中で、嘉右衛門町の街の問題点や、住民が意識していない街の魅力を発見することになった。これからの街作りによってさらに魅力的な場所になりうる場所を「嘉右衛門町ポテンシャルゾーン」として定め、それらの街をつくる様々な要素を写真に撮り、地図上にプロットしていきながら嘉右衛門町内9つの場所に、将来像を提案した。

現在は様々な問題がある嘉右衛門町地区で、ポテンシャルゾーンを図案化する作業を通して、その問題を嘉右衛門町パタンランゲージを使いながら解決を試みた。いくらか飛躍はあるものの、より住民にとって、また、嘉右衛門町を訪れる人たちにとっても、魅力的な提案となったのではないかな。

「嘉右衛門町ポテンシャルゾーン」にはナンバーをつけて、嘉右衛門町パタンランゲージから参考にしたパタンをはじめに示しているのので、そこから、嘉右衛門町パタンランゲージに戻り、パタンについて詳しく読んでもらいたい。より、まちづくりについて深く考えることができる。街づくりを考えると、中心になるべきなのは、その町に住む住民であるべきである。この街並みの将来像の図案化から、専門家ではない、この町に住む人たちが、自分のこととして町の将来について考え、意見を出し合い、自分たちの街づくりの指針をまとめていくきっかけになれば嬉しい。



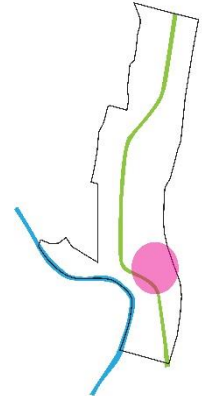
嘉右衛門町ポテンシャルゾーン

図1 嘉右衛門町ポテンシャルゾーン

# 6 街道沿いの街並みを整える

嘉右衛門バタンランゲージから

11.野々木の交差点 16.1階バスと乗客タクシー 18.1階伝統的建造物の修復 21.1階建ての商業 22.1階建ての商業 26.1階建ての商業 35.1階建ての商業 36.高さから異なる外観の住宅  
41.1階建ての商業 52.1階建ての商業 53.1階建ての商業 57.1階建ての商業 60.1階建ての商業 61.1階建ての商業 68.1階建ての商業 74.1階建ての商業 81.1階建ての商業 82.1階建ての商業  
97.1階建ての商業 100.1階建ての商業 115.1階建ての商業 122.1階建ての商業 124.1階建ての商業 171.1階建ての商業 207.1階建ての商業



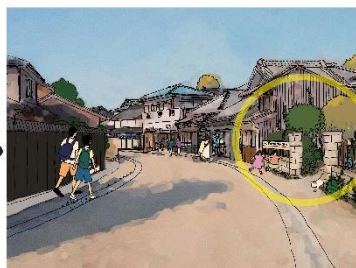
6.1階建ての商業

段階的な街並みの整備

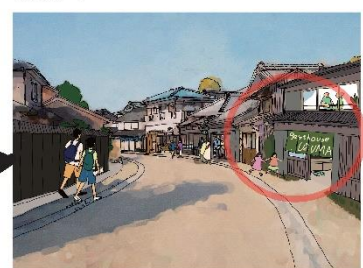
2016年



2021年



2031年



現在  
駐車場が街道に面して見えていて、開放とした印象。



5年後  
通り沿いの駐車場は撤去し、大きな空き地は、駐車場でなく、子供のための広場に。



15年後  
広場だった場所に通りを面して見世蔵を作り、ゲストハウスをオープン。奥にはオーナーの住宅。

6.1階建ての商業

図2 6.街道沿いの街並みを整える

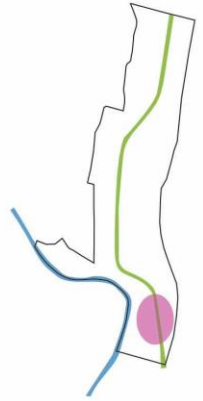
# 7 通りに対して開いた見世の作る街並み



6. 異国風の家並みを想える

嘉右衛門パタランゲージから

- 11. 町の中で交通
- 60. 手近な緑
- 61. 小さな広場
- 97. 隠れた駐車場
- 2. バス停
- 100. 歩行者街路のデザイン
- 124. ちいさな人形
- 171. 木のある場所
- 207. ふさわしい材料
- ☆5. 扉のデザイン

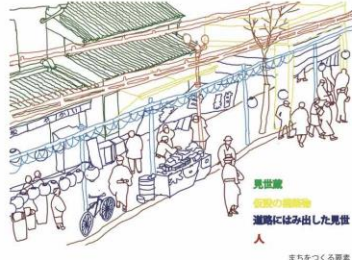


現在の嘉右衛門町の街道は、歴史的な建築が多く残っており、うずま川にそって湾曲した道も魅力的な景観を作っている。しかし、もともと、商店が立ち並んでいた通りは、住民の高齢化によってその役目を果たさなくなり、多くの店は通りに対して閉じて、嘉右衛門町の魅力を半減させてしまっている。

新しく、店を開いてくれる若いアーティストやものづくりをしたい職人が、安く店や作業スペースを借りられるようになれば、街は本来のキャラクターを取り戻し、通りはより魅力的なものになっていく。



大正時代の街角



異国風  
道端にはみ出した見世  
まちをつくる要素

栃木市らしい、店蔵の並ぶ街並みとは、ただ単に、建物として店蔵が残っていれば良いだけでなく、通りから、見世の奥が見えたり商品が外まではみ出てきたりして、そこにひとが集まるような街並みである。

ただ単に、修繕して行くだけでなく、栃木市の街並みのキャラクターを取り戻していく。



現在の嘉右衛門町の通り



2025年の嘉右衛門町

## この通りに住むひとたち

カフェとつづつを  
経営する夫。  
夫は栃木市生まれ。  
益子で8年間、菓元  
で修行後独立して、  
地元に移ってきた。  
妻に修行中出会い、  
妻の夢だったカフェ  
を併設した、器屋を  
オープン。



KauemonBooks店長。

東京都生まれ。  
旅行で訪れた、嘉右衛門町  
の町並みに一目惚れして、  
移住を決定。  
本屋を開くのが昔からの  
夢で、市からの町づくり補助金  
をうまく使って、夢を実現さ  
せた。彼女募集中。



ギャラリー蔵オーナー。  
もともと、嘉右衛門町に  
住んでいた。  
昔から絵を描くのが趣  
味で、子育ても終えて子  
供達は独立し、時間に余  
裕ができたので、ガレージ  
を改装し、ギャラリー  
をオープンさせた。  
地元の作家を中心に、展  
示会を開催している。  
ねごと、夫と3人暮らし。



7 異国風の家並みを想える

図3 7.通りに対して開いた見世の作る街並み